



取材風景

している)

編集部 ボランティアの方は、何名ぐらいおられるんですか。

オリバー 三十人ほどいますけど、きょうは四人来てくれています。

編集部 ローターションを組んでされてるんですか。

オリバー そういうでもなくて、毎週来る人、月一回来る人、土・日・祭日に来る人、いろいろですね。

編集部 ほとんど若い方ですか。

オリバー いろいろな人達です。主婦のグループとか、学生、会社員、外国人などさまざまです。

(怪我をしている犬舎の前で)

オリバー この犬は、誰かにいたずらされて、脚を切られているんです。

編集部 ほんと。でも、こんな元気で動いてるけど。

オリバー 元氣、元氣。交通事故ではない、これは。

編集部 もしかすると、ワナかもしれないね。オリバー ワナとも違います。獣医さんが、いたずらで切られていると言っていました。

こういう犬は、ずっとここに置いておきます。あっちと比べると、狭いです。ここから散歩します。上のほうは散歩しないうです。

編集部 犬も運命がそれぞれあるからね。同じ不幸でも、こういうところへ来ると、幸せだと思ふ。

オリバー そうですね。

食事は毎日手作り

編集部 これだけいたら、世話が大変でしょう？

オリバー そうですね。

編集部 食事の世話、糞の世話、ノミがいる、予防注射…、それは大変だと思う。

オリバー この犬は一週間前に避妊しました。もうすぐ抜糸です。

(洗濯機を置いてある小屋で)

オリバー ここはお風呂です。

編集部 ほう。定期的にお風呂に入れるんですか、みんな。

オリバー 夏の前だけだね。今年は春から夏にかけて、ノミがものすごく多かったです。

編集部 全国的にそうでしたね。

オリバー ここは寝るところ。

(ドックフードや缶詰など食糧を置いてある小屋で)

編集部 ここで食事を作ってあげるんですか。

オリバー そうです。(今朝作ったおじやを見せながら) ご飯、鶏肉、魚、野菜、うどん